

稲中ランチタイム通信

9月17日(火)

今日の献立

けんちんうどん
ししゃもの磯辺揚げ
月見団子
牛乳



盛り付け図



『十五夜』について

十五夜とは、旧暦の「毎月15日の夜」のことを指します。特に旧暦の8月15日は、月がとても美しいことから「中秋の名月」と呼ばれ、月見をする慣習があります。この時期は、空が澄み切っているので満月がとても美しく見えます。十五夜に次いで美しい月が見えるのが「十三夜」で、今年は10月27日です。十五夜に月見をして、十三夜に月見をしないことを「片見月」と呼び、嫌う風潮があります。今年の十五夜は、今日(9月17日)です。今夜は美しい月が見られるといいですね。

先生からの食育コメント

お月見をするときは、団子やススキ、旬の野菜や果物などをお供えます。たくさん収穫できたことに感謝する意味と、これからも食べ物に困らないよう願う気持ちをこめてお供えます。月に似せて丸く作った団子には、米の収穫を感謝するという意味合いがあります。